



直方南小学校だより

令和7年6月9日(月)

直方市立直方南小学校

No.7 校長 塩田 朋久

直方南小学校は、創立150周年を迎えます

1872年(明治5年)、国が「学制」を公布。これを機に、「学校」が全国各地に設立されていきました。現在の直方市では、1872年に福地小学校、翌年に下境小学校・新入小学校、1874年に感田小学校・植木小学校・上頓野小学校、そして1875年(明治8年)に、直方南小学校が創立されました。今年で創立150周年を迎えます。

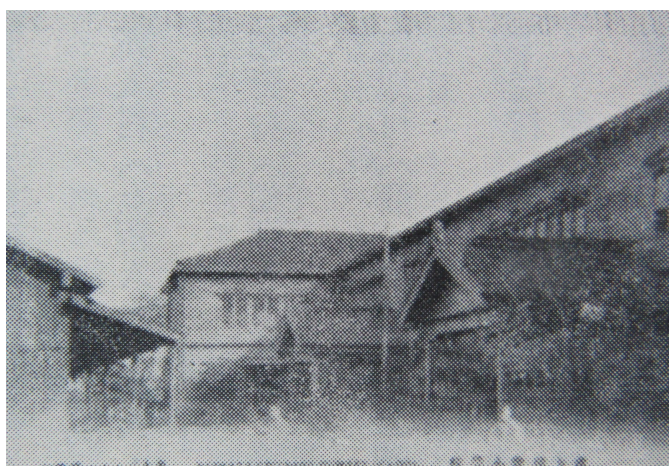
150年・・・創立から本校はどのような歴史を歩んできたのでしょうか。50年前に「創立100周年記念事業」の一つとしてつくられた「直方南小学校百年史」や「直方市史」等をもとに、数回のシリーズでお伝えしていきたいと思います。



直方南小学校のあゆみ① ～直方南小学校の誕生～

1875年(明治8年)9月、「直方南北小学校」として、設立され、「南小学校」は新町児童公園のところに、「北小学校」は福岡銀行のところの二か所に分かれてスタートしました。当時は「4年制」で、校区内約130名の対象児童がいましたが、実際に学校に通った児童は50名程度で、他は学校に通っていませんでした。まだ、「学校」というものが確立していなかった時代背景を感じます。

学校名は、1891年(明治24年)に「直方尋常小学校」に改称され、この時「南」の文字が消えました。



変則的なケースですが、1914年(大正3年)に南北校が分立するまでの39年間、2校で一つの学校でした。1914年に分立したことで、直方北小学校が新たに誕生するとともに、直方南小学校が独立することになります。この時、「直方南尋常小学校」と改称され、再び「南」の文字が校名に戻りました。

←1909年(明治42年)の校舎

◎学校が誕生したころの日本の様子は・・・

1871 廃藩置県 1877 西南戦争 1879 琉球を沖縄県とする

1889 大日本帝国憲法発布 1894 日清戦争 1904 日露戦争

明治維新で、一気に国内情勢が動き続けた時期ですね。 (つづく)